

どう守る三嶺・剣山系の森と水と土

—シカ食害と自然の再生を考える・シンポジウム(13)—

【趣旨】三嶺・剣山系の自然が激しいシカ食害を受けて15年余、「みんなの会」設立後、市民と行政、大学などが連携・協働を深め、取り組んで12年余が経ちました。以来、冬季には三嶺山域での被害や対策、一部石鎚山系を含む調査の報告によって共通認識を深めるとともに、全国各地の事例を知り、見識を高めるためのシンポジウムを開催してまいりました。

今回は、前迫ゆり先生に基調講演をお願いし、最新の全国的調査に基づく各地の植生被害の実態と、長く調査フィールドとされてこられた世界遺産「春日山原始林」と天然記念物「奈良のシカ」に関わる文化、生態系、そしてシカ柵の効果と課題などのお話をさせていただきます。



林床の草や稚樹、落ち葉を食むシカ

【日時】 2020年 1月25日（土） 13時15分～16時50分

【場所】 香美市立中央公民館（香美市土佐山田町宝町2-1-7、国道195沿い）

【入場料】 無料 どなたでも気軽にご参加ください（駐車場有り）

【第一部 基調講演】 13時15分～14時45分

「シカは日本の自然をどう変えたのか」

— 2019 植生全国調査と春日山原始林の変遷からみえてきたこと —

講師：前迫ゆり（大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授）

著書：「世界遺産春日山原始林—照葉樹林とシカをめぐる生態と文化」（編著、ナカニシヤ出版、2013年）、「シカの脅威と森の未来—シカ柵による植生保全の有効性と限界」（編、文一総合出版、2015年）

【第二部 三嶺山域等での動向】 14時50分～16時50分（含む質疑）

1. 三嶺の森概況報告 みんなの会 押岡茂紀
2. シカは何を食べているか—糞の分析から みんなの会 比嘉基紀
3. 四国山地の国指定鳥獣保護区におけるニホンジカ対策について
環境省 四国事務所 濱口修次
4. 三嶺地域及び石鎚山周辺地域におけるシカ被害対策について
四国森林管理局 橋口勝一
5. 三嶺山域における香美市の「管理捕獲」状況 香美市農林課 森山和馬

【主催】 三嶺の森をまもるみんなの会 問合わせ先（依光 0887-56-2366、坂本 088-850-0102）

【共催】 林野庁四国森林管理局、環境省中国四国地方環境事務所、高知県、香美市、香南市、南国市